

響

読者と本紙と

平和な世界「ゴジラ」見て願う

3月24日付の本紙

ユースてらす「山崎

貴監督『ゴジラー1・0』視

覚効果賞」を読み、大スクリー

ン、大音響設備の映画館に足を

運び、夫婦で迫力満点の怪獣映

画を楽しんできました。

本作は、初代ゴジラから70周

年記念ということで、ゴジラは

私と同一年です。私が初めて映

画でゴジラを見たのは、東京五

輪のあった1964年の「モス

ラ対ゴジラ」でした。私は第1

次怪獣ブームの中で育ち、家の

玄関には石材店で買った高さ60

センチのゴジラの置物があります。

度重なる水爆実験から生まれ

たゴジラを迎え撃つ作戦会議の

ロケ地は、諏訪圏フィルムコミ

ッションが紹介した旧岡谷市役

所庁舎と知って、若い人たちの

まねをして、これから聖地巡礼

をしてみようと思います。

記事の中で山崎監督は「映画

は戦争と核兵器の象徴でもある

ゴジラを何とか静かにさせる

話。それを世界が求めているの

ではないか」とコメントしてい

ました。子どもの頃にはそんな

難しいことは考えませんでした

が、年をとった今回は、改めて子

や孫の世代が、戦争や核兵器に

おびえることのない平和な世界

になってほしいと思いました。

長野市 赤羽 昭彦

(会社員・69)